

わくわくだより

第2号

平成26年11月11日(火)

少人数・習熟度別授業担当 木谷一雄・森林 さやか



習熟度別学習（中学年の部）

3年生では、「かけ算のしかたをくふうしよう」で、クラスを半分に分けて少人数学習を行いました。まず、 32×3 の計算のしかたを、今まで習った方法で考えることはできないか話し合いました。

☆子どもたちの考えた方法

図（ドット）をかいて考える。

⑩⑩⑩ ①①
⑩⑩⑩ ①①
⑩⑩⑩ ①①

式で考える。

$32 \rightarrow 30 \times 3 = 90$
 $2 \times 3 = 6$
 $90 + 6 = 96$

習ったことを思い出しながら、子どもたちは様々な考え方をノートに書いていました。この考え方をもとに、早く正確に計算できる方法として**かけ算の筆算**のしかたを学習しました。



☆問題を解いています。



☆考えを発表しています。

4年生では、「わり算の筆算のしかたをさらにくふうしよう」で、少人数学習を行いました。1学期には2けた×1けたの筆算のしかたを学習しました。2学期で学習する筆算は、わる数が2けたになり、商（答え）に何が立つか見当をつけて計算していかなければなりません。子どもたちは、まず、図（ドット）をかいて計算のしかたを自分なりに考えました。



3年生の学習について

3年生の子どもたちは、かけ算の筆算に意欲的に取り組んでいます。1問解けるともう1問と、どんどんチャレンジしています。かけ算の筆算の学習では、2年生で学習した九九を用います。中には、九九を忘れていた子もいます。特に**6, 7, 8の段**が苦手なようです。家庭の方でも、時々、九九を覚えているかどうか暗唱などさせていただくようお願いいたします。

4年生の学習について

子どもたちは、わり算の筆算のしかたを理解し、少しずつ難しい問題も解くことができるようになってきています。しかし、中には2けた×1けたの筆算はできても、**2けた×2けた**になると繰り上がりのたし算を忘れていたり、位を間違えたりしている子もいます。学校の方でも、復習プリントなど取り入れていきますが、家庭の方でも復習していただくようお願いいたします。